



シース総合政策研究所

# しまね発つながりダイバーシティ2.0

自走支援＊横展開支援による多様性を受容する  
アクティブな関係人口創出プラットフォーム

# しまね発つながりダイバーシティ2.0成果報告

---

## 1. 事業概要

## 2. 実施地域課題と事業の方向性

## 3. 実施テーマ、スキーム、展開内容

## 4. 実施内容

## 5. 事業成果

自立・自走化の検討

他地域への横展開の可能性の検討

Overview

# 1. 事業概要



# しまね発つながりダイバーシティ2.0

自走支援＊横展開支援による多様性を受容するアクティブな関係人口創出プラットフォーム

---

## ビジョン

### 関係人口における取組段階と人材ニーズを組み合わせた支援の実施

R2年度に採択を受け実施した「しまね発つながりダイバーシティ」の成果とそこから見えてきた課題を踏まえ、事業の基本方向を、

「i 先駆的なモデル事業の実施とモデルの横展開」

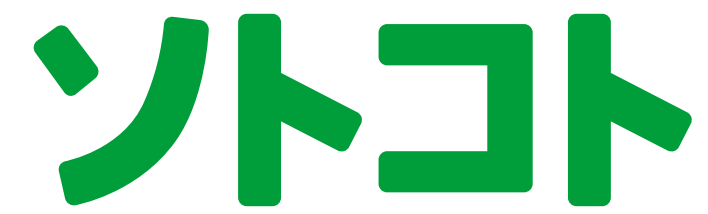
「ii.自走の条件となるマネタイズと地域側の運営体制の充実支援」を設定し、  
事業成果の深耕と拡大を図ることをめざした。

# ステークホルダー

## 事業実施団体

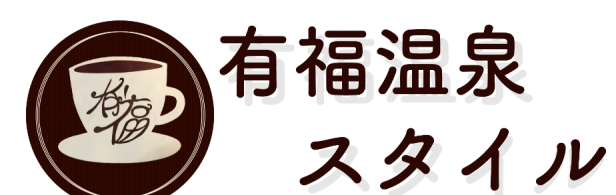


委託事業の統括管理および会計管理、提案者、連携先機関との調整。島根県内における事業及び調査分析、メンター調整。調査委員会事務局。WEB活用コンテンツ、DB制作。



委託事業管理及び事業企画監修。首都圏関係人口層に向けた広報戦略、募集戦略。魚津市との企画調整、オンラインイベントの企画運営

## 協働地域・団体



## 協働関係人口層

# 主な事業達成状況



## 5件

のアイデアがオンラインフィールドトライアルにおいて関係人口層から提案された

KPI：フィールドトライアル参加者による提案件数が参加者と同数

## 91%

事業に参加した地元関係者から今回の取り組みが自身の地域活動への意欲が高まったと回答

KPI：関係人口との協働活動を継続したいと考える関係者の割合が関係者の80%以上



## 1件

有福温泉地域における関係人口と地元住民による具体的な協働事業を実施した

KPI：協働事業の実施件数1件

## 100%

協働により「地域づくりにとってよい効果を得た」と感じた地元関係者

KPI：協働により「地域づくりにとってよい効果を得た」と感じる地元関係者の割合が80%以上



## 9件

のアイデアがオンラインフィールドトライアルにおいて関係人口層から提案された

KPI：フィールドトライアル参加者による提案件数が参加者と同数

## 2件

のアイデアが次年度以降も継続して展開する取り組みとなった

KPI：次年度に継続して展開する取り組みの件数が2件以上



## 6件

のかかわりしろ動画をYoutube「かわわりしろチャンネル」で制作・発信した



## 9名

の関係人口層が関係案内人育成講座【ツナギビト講座】に参加した

## 71%

本講座のテーマと内容には満足したと回答

Problem and Directon

## 2. 昨年度成果とそこから見えた課題



# 昨年度実施の効果



## 主な実施内容

かかわり「シロ」チャンネル

オンライン交流イベント

オンラインフィールドトライアル

## 効果

浜田市 江津市

人・活動・地域のかかわりしろの見える化

浜田市 江津市

コミュニティと関係人口が出会う・繋がる  
ニーズ・シーズの共有、マッチング

浜田市

地元住民視点での地域案内  
メッセンジャーとしての役割の可視化

浜田市 江津市

関係人口層からの繋がりアイデア提案

## 地域と関係人口の関係性

- ・ 地域との接点ができる
- ・ 関係が芽生える

- ・ 地域と関係人口が出会う・繋がる
- ・ 関わり方を具体的に描く、共有する

- ・ 地域側からの情報発信による関係の持続
- ・ 地域の認知拡大

- ・ アイデアのプロジェクト化・実行による、持続的な協働関係の構築



# 課題と解決要因

---

## 昨年度事業で見た課題

### 関係人口ニーズ拡大・多様化に対応できる受入地域が少ない、機会損失の懸念

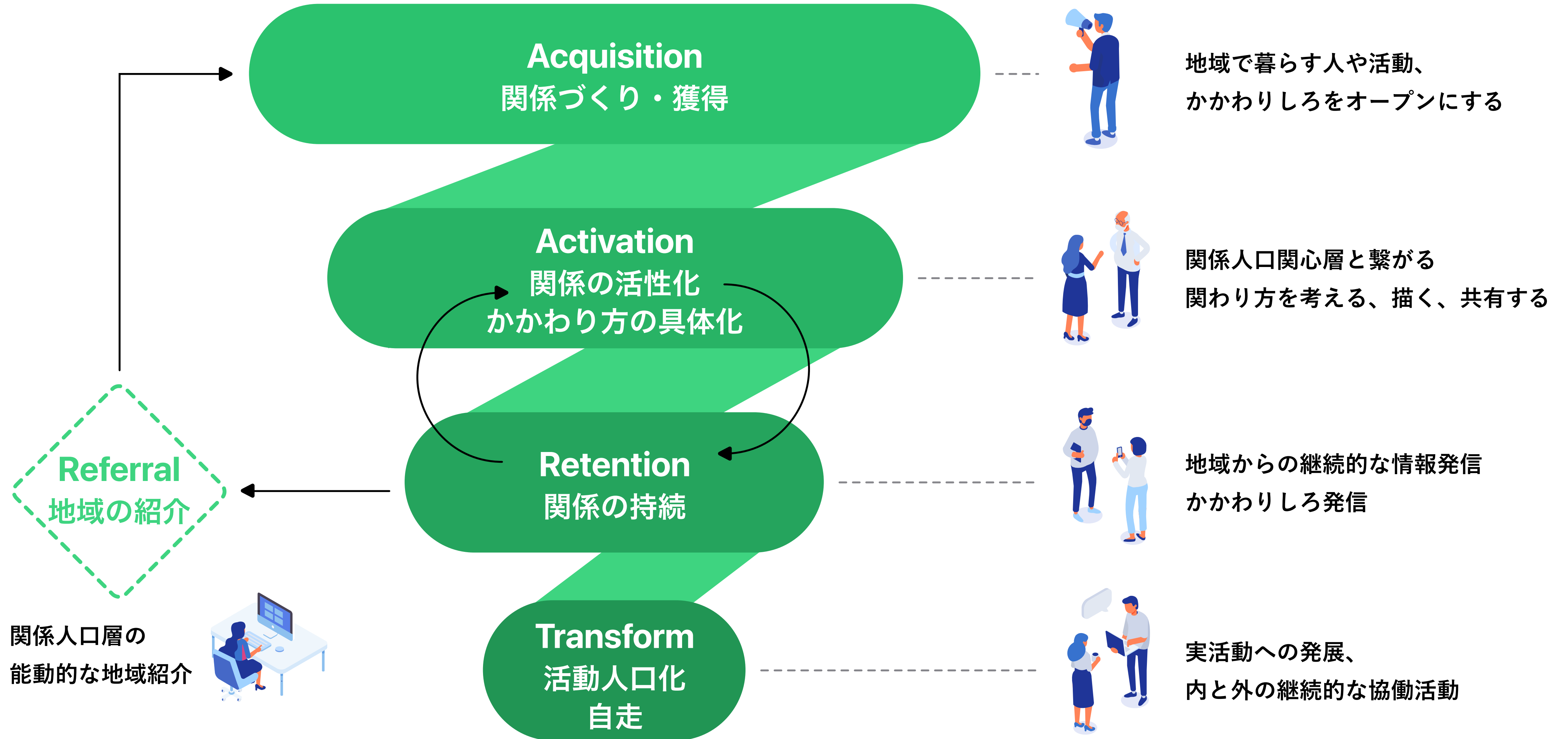
量・質が拡大、多様化する関係人口ニーズに対して、この時期を逃さず、地域活力の向上に活かしている、関係人口受入地域が少ないというギャップが生じている。

## 課題解決のための要因

- 「関係人口創出・拡大モデル」の横展開により、取組み着手から成果達成までの期間・投入コストの最小化
- 拡大する関係人口関心層の関わりニーズを逃さず、地域住民やプレーヤーとをつなぐコーディネート人材「関係案内人」の育成
- 取り組みの自走化を可能にする、「収益性」と広域的な協力連携を見据えた「人材を生かす運営体制」の充実

地域と関係人口の関係創出・拡大フレームワーク

# AARRTモデル



Theme, Scheme, Contents

# 3. 実施テーマ、実施地域の課題、 スキーム



# しまね発つながら ダイバーシティ2.0

自走支援＊横展開支援による多様性を受容する  
アクティブな関係人口創出プラットフォーム



## 実施地域



島根県浜田市

継続



島根県江津市

継続



富山県魚津市

新規

## 魚津市

魚津市は、富山県東部に位置する、人口41,132人（R3年3月1日現在）であり、昭和60年以降人口減少が続く状況となっている。魚津市は13の地域により構成され、固有の地域特性を活かしたまちづくりが進められている。

地域によっては取り組みを推進する担い手確保や、地域プレイヤーの活動をサポートする多様なスキル・経験・ネットワークを有する支援人材の充実が求められている。

### R2年度の他地域での成果を活かした展開可能性

- ① 浜田市実施の関係人口の視点を交えた地域課題の発見・協働により解決をめざすモデルとなる仕組みの活用
- ② かかわりしろを発見・紹介するチャンネル活用

### 富山県魚津市で実施する理由

- ① 日本海岸都市の広域的な関係人口連携構想への挑戦
- ② シーズ、ソトコトとの協力関係
- ③ 島根県2市と類似の社会構造

横展開

# 関係人口の拡大と関係人口創出に取り組むコミュニティの拡大

浜田市

## 関係人口創出に取り組む 地域・コミュニティの拡大

- ✓ 昨年度協働した三地区以外の地区との協働オンラインフィールドトライアルの実施
- ✓ かかわり「シロ」チャンネルの投稿者コミュニティへの参画
- ✓ コミュニティを通じた上記地区トライアル参加への協力

[ 関係人口 ]



島根県立大学生

魚津市

## 構築モデルを活かした スタートアップ地域との協働

- ✓ 富山県魚津市との連携
- ✓ 魚津市と関係をつくるためのオンライントライアルを実施
- ✓ 富山と都市部を結ぶ関係人口講座「とやまつながるラボ」受講OBOGとの連携

[ 関係人口 ]



浜田市 江津市 魚津市

## かかわり「シロ」チャンネルの拡大

- ✓ 三市をコア地域とし、かつオープン枠を設け、様々な地域のかかわりしろ発信する
- ✓ ソトコト編集長 指出一正氏と、GO▶つくる大学校長 三浦大紀氏による、チャンネル出演者とのリレーセッションを行い、応援したい人とのマッチングを図る。チャンネルのコミュニティ化を目指す

[ 関係人口 ]



関わり方の入り口作り

## 関係案内人育成

# 関わり機会の拡充と地域間連携による 人材育成と連携の体制づくり

浜田市 江津市 魚津市

## 地域内編集人材、関係人口層の編集人材の育成

- ✓ 地域の魅力を発見、デザインする地域の編集人材の育成
- ✓ 編集人材の発信機会の創出と拡充
- ✓ GOつくる大学との連携

[ 関係人口 ]



島根県立大学生



受講の募集・実施



有料参加、実践



## 自走

# 地域と活動人口との協働

江津市

## GO▶つくる大学

- ✓ トライアルの参加者が作成した講義プランの実現に向けた支援
- ✓ 地域編集人材育成講座の協力

[ 関係人口 ]



江津市

## 有福温泉

- ✓ トライアル参加者の提案アイデア実現に向けた支援  
例：ブックキュレーターによるミニライブラリーの開設 (R2提案)

[ 関係人口 ]



Details

## 4. 実施内容

- ① 横展開
- ② 関係案内人育成
- ③ 自走





浜田市

# 関係人口創出に取り組む地域の拡大

浜田市の新たなコミュニティづくりの拠点として整備される「まちづくりセンター」を通じて、黒沢地区と関係人口との協働トライアルを実施した。

①

選定地域の関係人口との  
つながりニーズとかかわ  
りシロ（課題・地域特  
性・人）の把握

②

大都市側参加者を対象と  
する事前ワークショップ  
（参加目的に応じたかわ  
りシロニーズを把握）

③

オンラインフィールド・  
トライアルの実施

浜田市

# オンラインフィールドトライアル

## ① 魅力の編集フェーズ



おいしい米を、誰かに売っても、あげても、黒沢米は美味しいよって言われるとうれしいじゃない

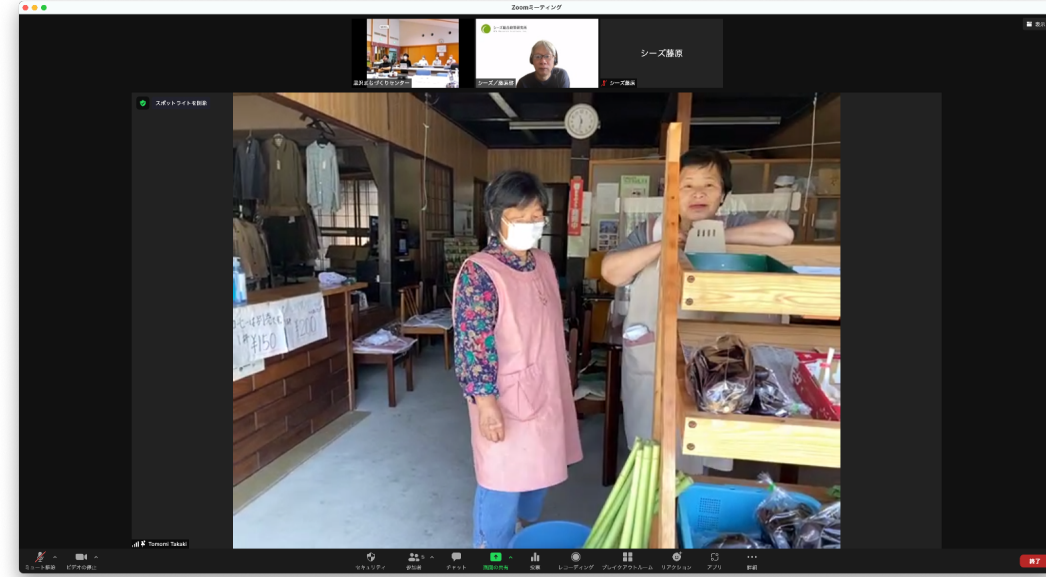


かっぱランド夏祭り実行委員長 石川さんインタビュー

大きなお釜でカレーを作ってもらいまして、それを皆さんに食べていただく。

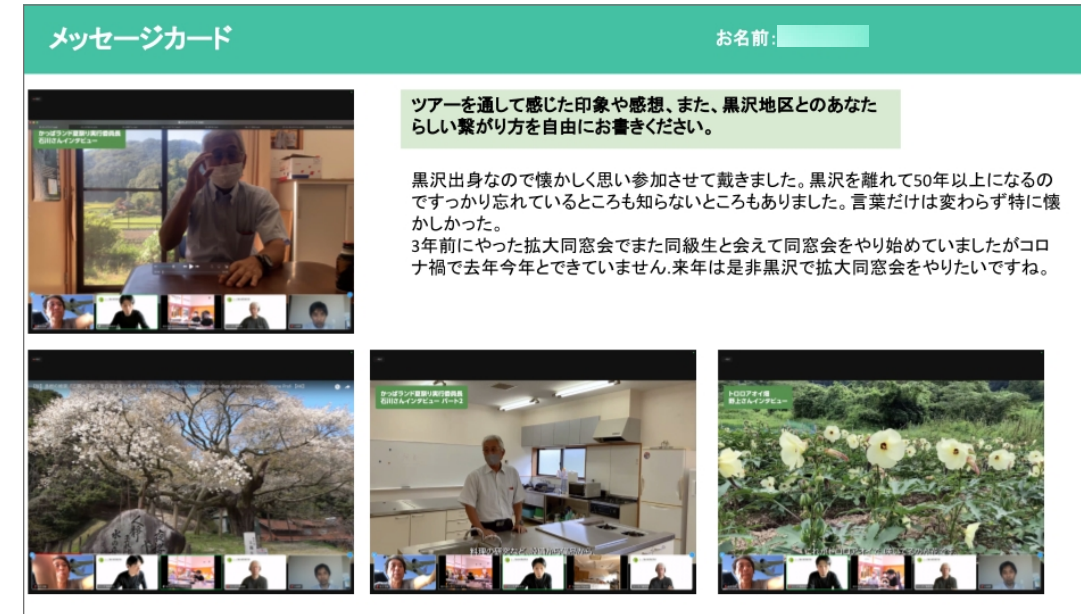
- 参加者のニーズの把握
- プレイヤーインタビュー
- 地域紹介動画の編集

## ② 交流・理解を深めるフェーズ



- オンラインツアー
- かかわりしろの記録

## ③ つながりアイデア検討フェーズ

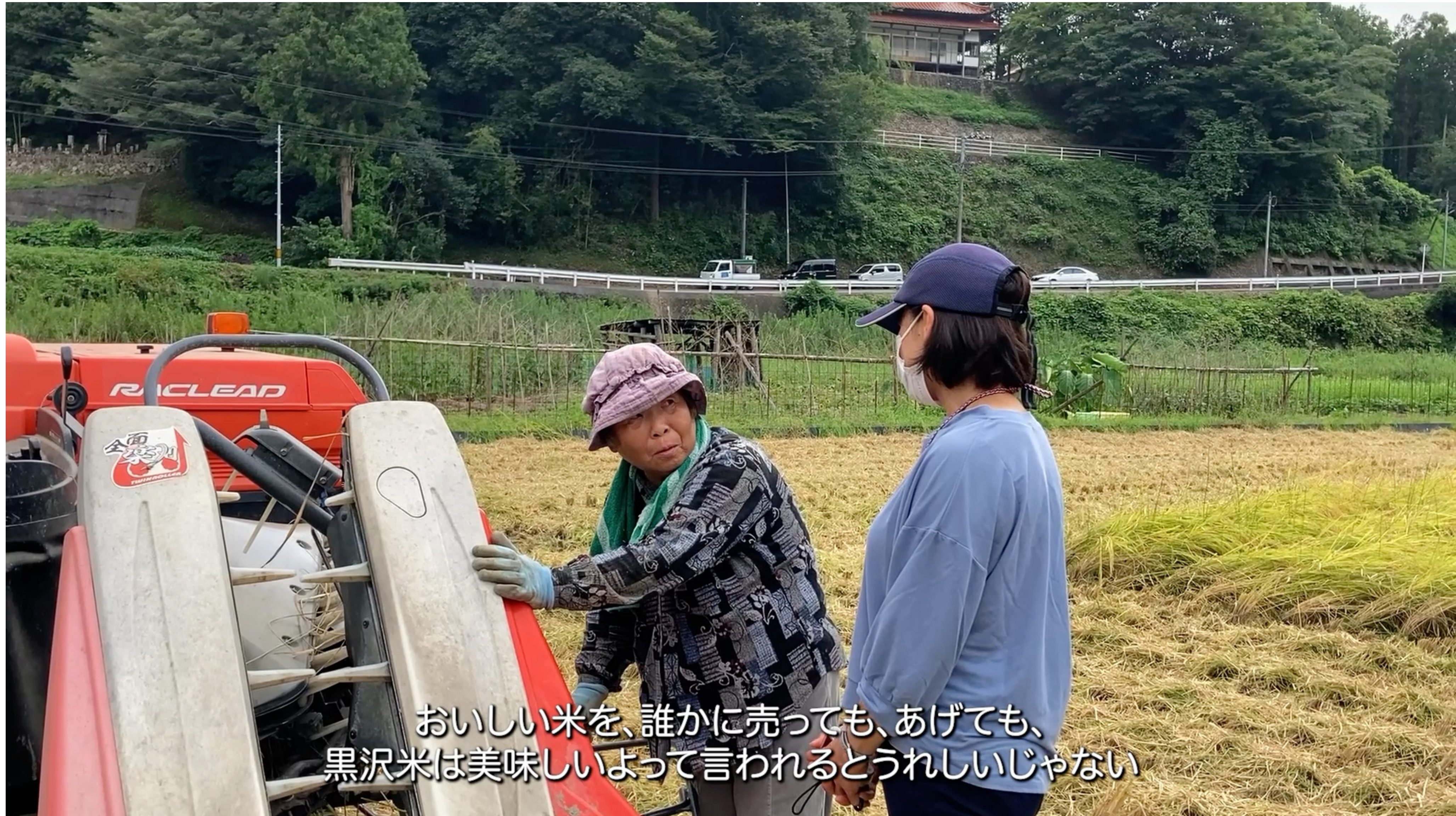


- つながりアイデアの検討
- ステイトメントの作成

## ④ 地域の人との共有フェーズ



- ステイトメントの共有



地域の様子を動画で紹介

魚津市

## 構築モデルを活かしたスタートアップ地域との協働

魚津市で活動する地域プレイヤー・団体等との連携を通じて、地域と関係人口との協働トライアルを実施。魚津市内で活動するプレイヤーにメンターとしての指導、伴走役を依頼するとともに、同市地域協働課との連携を図り、本事業終了後も魚津市内の自走可能な体制づくりを目指した。

①

選定地域の関係人口との  
つながりニーズとかかわ  
りシロ（課題・地域特  
性・人）の把握

②

大都市側参加者を対象と  
する事前ワークショップ  
（参加目的に応じたかわ  
りシロニーズを把握）

③

オンラインフィールド・  
トライアルの実施

魚津市

# オンラインフィールドトライアル

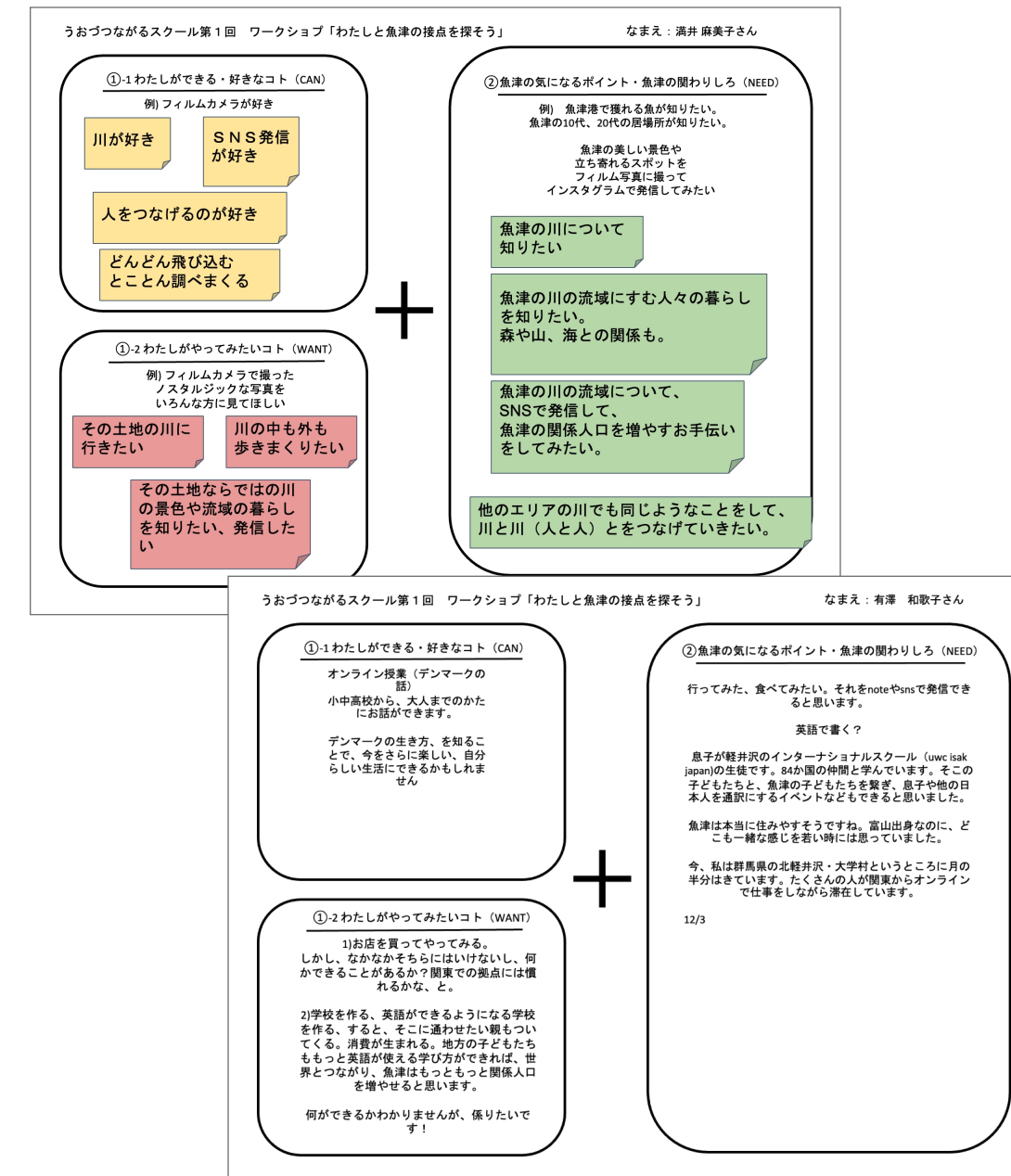
## ①魅力の編集フェーズ



## ②交流・理解を深めるフェーズ



## ③つながりアイデア検討フェーズ



## ④地域の人との共有フェーズ



- 参加者のニーズの把握
- プレイヤーインタビュー

- オンラインツアー

- つながりアイデアの検討
- ステイトメントの作成

- 地元関係者へのステイトメントの共有



地域の様子を動画で紹介

浜田市 江津市 魚津市

# かかわりシロの可視化

地域の魅力ある場所やコト、モノを素材に、さまざまな活動を展開している「地域びと」が、関係人口とのつながりを訴求する動画を紹介するYoutube「かかわりシロチャンネル（R2事業で開設）」を活かし、引き続き可視化するメディアとして活用した。

①

## かかわりシロの可視化

②

## かかわりシロチャンネルの発信

③

## オンライン・トークイベントの開催

浜田市 江津市 魚津市

# 地域内編集人材、関係人口層の編集人材の育成

地域の人\*関係人口をつなぎ、かかわりシロ発見と参画協働機会を地域で創出するコーディネート人材の育成を図るため、関係案内人育成講座を開講した。

今年度テーマである「海流関係人口」を視野に、関係人口として広くネットワークを図り、多様な地域との関わりを可能にする「ツナギビト」としての育成を図る講座を実施した。

①

持続可能なつながり方の  
検討：関係案内人育成講座

②

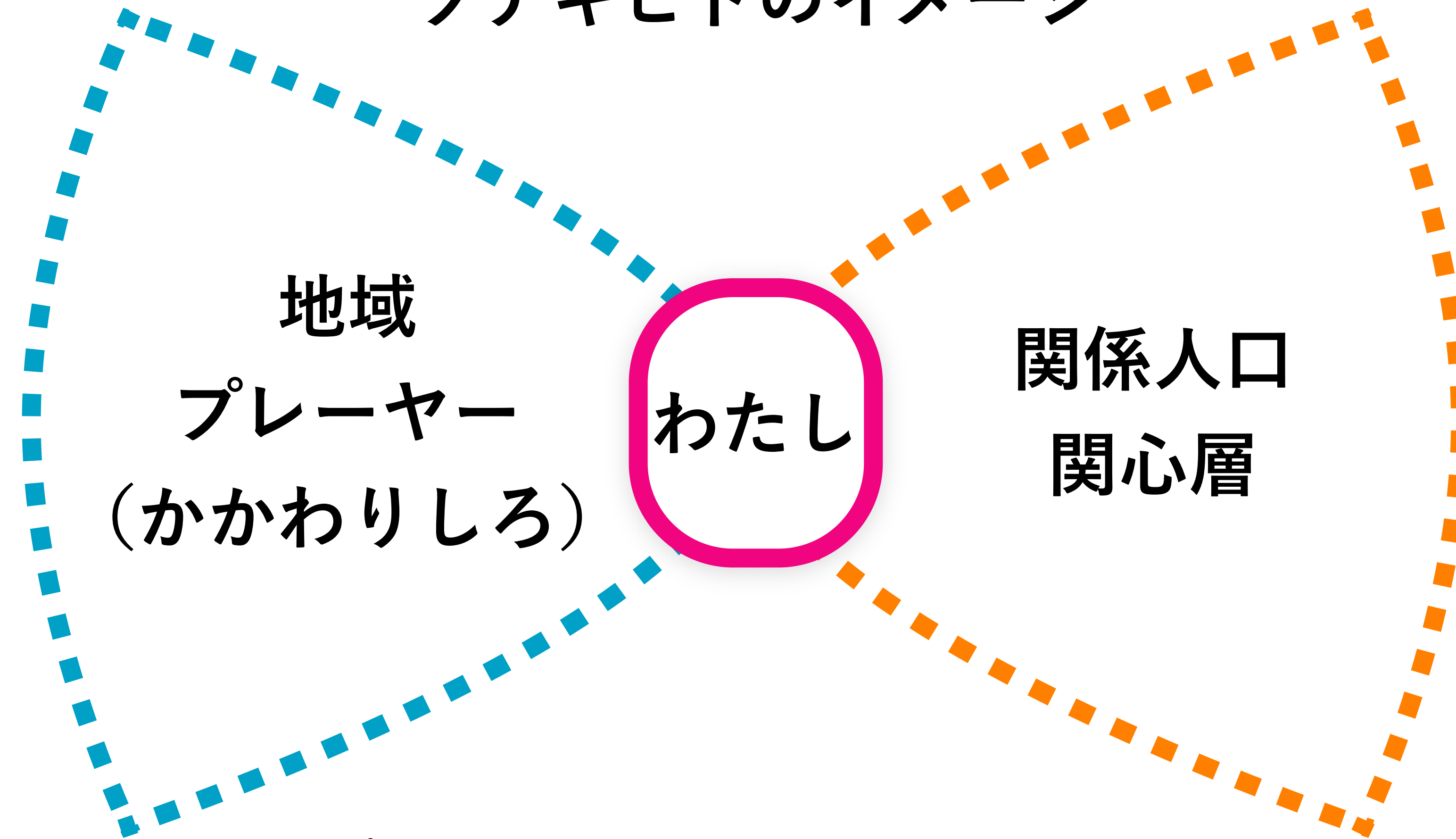
アドバイザーによる関係  
案内人育成講座の可能性  
提言

③

運営団体ネットワーク会  
議開催



## ツナギビトのイメージ

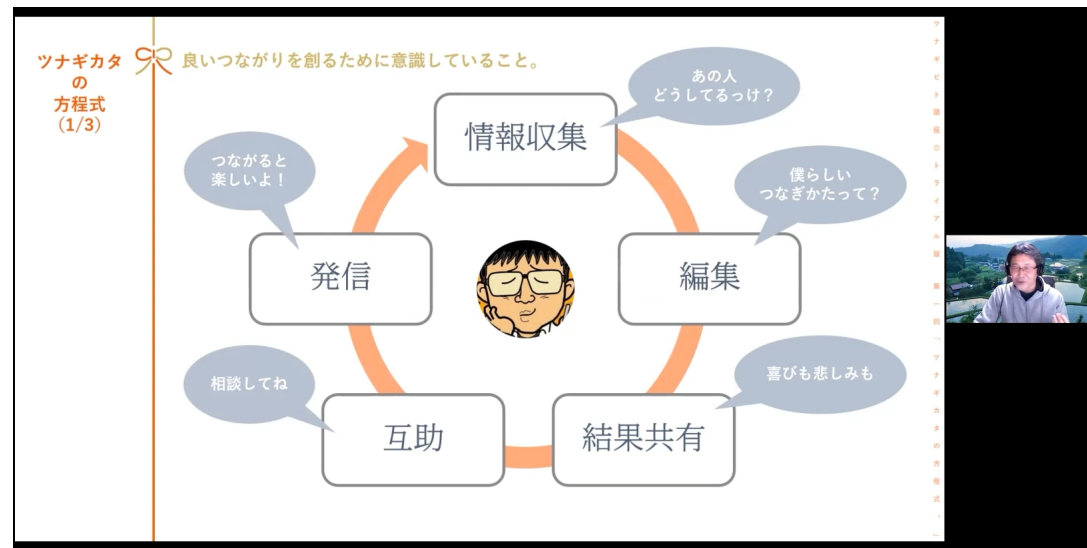


地域プレイヤーとつながり、それぞれのかかわしるに、  
関係人口を誘い、ゆるくコネクトする

浜田市 江津市 魚津市

# ツナギビト講座プロセス

## ①地域のツナギビトから学ぶ



## ②地域の編集から考えるツナギ方



## ③ステートメント発表

のツナギビトスタイル

### インドア派女子の遊牧民日記

～はじめまして、その先物語～

誰と (地域、ヒト、暮らしなど)	どうつながる?	誰を (つなげたい相手)
<ul style="list-style-type: none"> <li>富山や長野、地方で出逢った「なんだか優しい人たち」</li> <li>→旅行先手、交通機関・宿予約大嫌いetc...</li> <li>インドア派の私がわざわざ地方に出かけて行くくらい「なんだか会いに行きたくなる人たち」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現地にて、体当たり交流で生じる「自分の変化」を表現する</li> <li>⇒自分の五感+第六感でキャッチした「面白い人たちの軌跡、自分に起こる化学反応の変化、変化を掛け掛け学習も巻き込みながらみんなで体験・体験する</li> <li>⇒交流ライブをやってみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にやどる「あたたかさ」の感覚を大切にしている人</li> <li>・多様性、考えながら変化することに積極的になってもらう人</li> <li>・地方での暮らしに関心のある人</li> </ul>

※私らしい地域を見る視点

ツナギビトスタイルの背景、思い  
父の仕事の関係で「転居族の子」として育ち、HOME(故郷、帰る場所)の感覚をどこかで感じていた。十代の頃に母の疾患から「病院と家との往復の世界」で育つ。「外づら」の関係性-在り方に一切興味なかったものの、社会に出た時、どんな自分から反対側に進んでいく感覚があった。エジプトが触れる最初の土は難がた。でも、本人である自分が聞かされる確率は高くないが、

## ④シロチャン・アイデアソン



学びの整理・共有シート

名前: 木野 織恵

<p>東谷 猛さん #私にとってのツナギビト・キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私らしい」繋がってどんなのかな</li> <li>自分らしい「結び方」って難しく考えてしまっていたけれど、意味もいいたんだと思うと気持ち軽くなりました!</li> </ul>	<p>三浦 類さん #地域を楽しむ編集者の目・キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訪れた場所のフリーペーパーを作っている。一つ一つの自分の訪れた場所の紹介をして、自分目線で書くということができていなかったように感じた</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の軸になりそうなこと</li> <li>→本、フリーペーパー</li> <li>ものを通した人と人のツナギ方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このように講座を受講すること、出会い「繋げる」きっかけになる気がしました!</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のできるやり方を考え見つけてみる</li> <li>→体験したことを自分なりに引き寄せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことを書く</li> <li>→オンラインのものがある</li> <li>自分のできるやり方を考える</li> </ul>



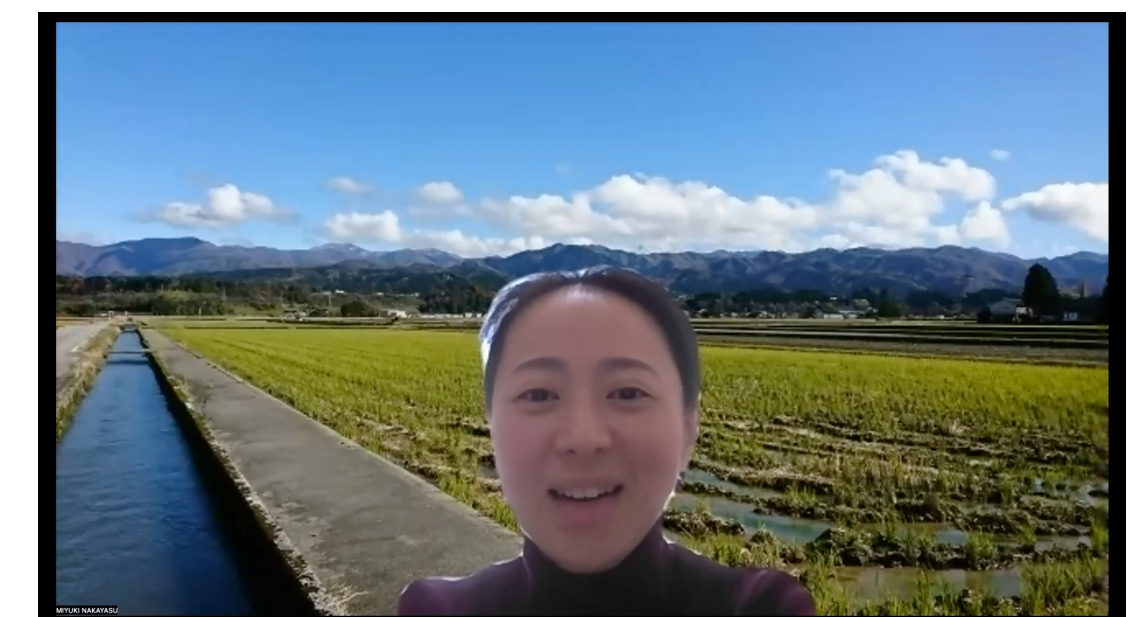
のツナギビトスタイル

### 暮らしを買わずに自ら作るプレーヤーに教を乞う

誰と (地域、ヒト、暮らしなど)	どうつながる?	誰を (つなげたい相手)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国山地中心に、パーマカルチャー・再生型農業やアウトドアガイドに取り組んでいる方、思いやその暮らし。</li> <li>津和野「種」大江健太さん</li> <li>山口「侍作/カマ」板山弘平さん</li> <li>上関「グッド・トゥ・ザンク」原康司さん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー動画を撮影して「かわりシロチャンネ」に投稿する?</li> <li>・インタビュー記事をしまこト新聞2号に投稿する?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市生活者。ただし私のように、地方在住でも(会社から得るサラリーで食いつなぎ、同時に必要量を超えて消費するサイクルを繰り返す) 都市生活様式で暮らす方を広く含みます。</li> </ul>

※私らしい地域を見る視点

ツナギビトスタイルの背景、思い  
「暮らしを買わずに自ら作るよ!」(「みんなでつくる中国山地」2号)。分かっていながら消費型生活様式から脱却できない自らの暮らしぶりにモヤモヤ感の湧きあがりますが、暮らし方をDIYしているプレーヤーは正直羨ましいと感じます。自らが感じる、その「羨望」とは何か、プレーヤーの共通項を探して自らの暮らしを変えるべく旅に出たいと思います。



- ツナギビトの意義を学ぶ
- ツナギビトとして大切にしたいことを考える

- 自分らしい地域の見方を学ぶ
- ステートメントの作成

- ステイトメントの発表

- 動画用ストーリー検討
- ストーリー発表

のツナギビトスタイル

## 関西で東北時間を楽しもう ～わたしが見つけたとおきのときめきをお届けします～

**誰と** (地域、ヒト、暮らしなど)

**好きな東北**  
①自分が足を運んで見つけた東北の魅力 (コト、モノ、ヒト、感じたこと)  
②東北×本  
(東北に関連する本や作家さん、旅したからこそ出会えた本屋さんときめきポイント、関西では手に入らないリトルプレスやフリーペーパー)

**どうつなぐ?**

**私**

①情報発信  
フリーペーパー制作、SNSでの発信、ラジオ  
②兼う (ゆっくりほっこりしてもらえらる増づくり)  
東北にまつわる美味しいイベントを開催  
・関西でも字煮会  
・本とビクニック  
→関西では手に入らない東北で見つけた本・リトルプレス・フリーペーパーを手にとってもらいながら、東北の美味しいを実際に食べてのんびり過ごす

※私らしい地域を見る視点

**誰を** (つなげたい相手)

①これまで東北が遠い存在だった方たち  
・関西で東北に一度も足を運んだことのない方、東北のことをあまり知らない方  
(東北を知ってもらい興味を持ってもらうきっかけ作り)  
・ローカルに興味がなくとも、楽しい・わくわく・美味しいが大好きな人たち (兼うと、その場にそっと東北がある)  
②東北に縁のある方たち  
・関西在住の東北出身の方  
・東北在住の方  
(東北時間を一緒に楽しんで盛り上げてくれる仲間)

ツナギビトスタイルの背景、思い

生まれも育ちも大阪なのにとにかく東北が好きです。大好きな作家・伊坂幸太郎さんが仙台を舞台にした小説が書かれていることがきっかけで、仙台が憧れの地となり、わたしは誘われるようにして仙台を含めた東北に足を運ぶことになりました。すると、関西にいたら知ることのできなかった「ときめき」が、東北でたくさん待っていてくれたのです。ひとりでぶらぶら歩いていると声をかけてくれるあたたかい方々、大阪弁とは違う聞きなれないかわいらしい言葉たち、空が広い、緑がたくさん、ゆるりとした雰囲気、はじめて食べる料理と美味しい日本酒、ふと気が付くと当たり前のようそこにいたこと。こんなに素敵な東北を関西でもっと身近に感じることができればいいのに...! そう思ったわたしは、関西にいながらどうやって東北を楽しむことができるのかを考えはじめたのです。

のツナギビトスタイル

## 暮らしを買わずに自ら作るプレーヤーに教を乞う

**誰と** (地域、ヒト、暮らしなど)

・中国山地中心に、パーマカルチャー・再生型農業やアウトドアガイドに取り組んでいる方の、思いやその暮らし。  
津和野「糧」大江健太さん  
山口「イマノウヰン」板山弘平さん  
上関「ダイトウカクシヤカックス」原康司さん

**どうつなぐ?**

**私**

・インタビュー動画を撮影して「かかわりシロチャンネル」に投稿する?  
・インタビュー記事をしまこト新聞2号に投稿する?

※私らしい地域を見る視点

**誰を** (つなげたい相手)

・都市生活者。ただし私のように、地方在住でも (会社から得るサラリーで食いつなぎ、同時に必要量を超えて消費するサイクルを繰り返す) 都市生活様式で暮らす方を広く含みます。

ツナギビトスタイルの背景、思い

「暮らしが買えると思うなよ!」(「みんなで作る中国山地」2号)。分かっているが消費型生活様式から脱却できない自らの暮らしぶりにモヤモヤ感の源がありますが、暮らし方をDIYしているプレーヤーは正直素敵だなと感じます。自らが感じる、その「素敵」とは何か、プレーヤーの共通項を探し当てて自らの暮らしを変えるべく旅に出たいと思います。

のツナギビトスタイル

## 二拠点居住経営者の目線で 地方のポップな働き方! を発信する

**誰と** (地域、ヒト、暮らしなど)

・地方で自己実現している人  
・面白い、ポップ、楽しい、格好いい、既成概念に捉われない働き方を実現している人

**どうつなぐ?**

**私**

●自分自身の働き方や日常の様子や体験を発信  
●地方に移住した人や地元の人の中で「これはポップだわ〜」心が動いた働き方発信

のちに、オンラインにて働き方見学ツアー  
→移住窓口受託、オフ会、企業研修など

**誰を** (つなげたい相手)

・これまでの働き方や組織づくりに違和感をもっている人や企業

ツナギビトスタイルの背景、思い

生き方と働き方はきつてもきれいなツナガリがある。「働く」を起点に会社に合わせるのではなく自分がどう生きたいかに合わせて働いている人の日常を発信することで、働く=我慢・自分や家族犠牲ではなく、働いて楽しいとか自己実現できるに概念をひっくり返したい

のツナギビトスタイル

## 国境の島

**誰と** (地域、ヒト、暮らしなど)

・外交や国防の史跡、交易の名残 (金田城、清水山城、漂流屋跡、芋崎砲台、日本海海戦ロシア兵上陸の地、そば、さつまいも)  
・国境の島を感じられるもの (韓国展望所、三密看板、低潮線保全区域、CIQ)  
・海とともに暮らす人

**どうつなぐ?**

**私**

・国境の島を感じられる場所をめぐるツアーを実施する。

※私らしい地域を見る視点

**誰を** (つなげたい相手)

・海軍鎮守府があった町 (横須賀・呉・佐世保・舞鶴) の地域プレーヤー  
・海上保安業務に興味がある人 (巡視船・灯台)  
・工業技術に関心のある人

ツナギビトスタイルの背景、思い

近年対馬を「国境の島」として売り出しているが、国境に来るとどんなことに直面するかあまり知られていない。対馬は日本地図で見ると「すみっこ」であるが、地球は丸いことや、福岡よりも近いところに福岡の倍以上の規模がある都市が存在することなど、国内に留まっていたら得られない発見を感じてほしい。

## 自走モデルの検討

# 関係人口プロジェクト創出プラットフォーム仮説の検証

関係案内応援コミュニティ(プラットフォーム)づくりの基本方針や期待したい効果や、コミュニティが果たすべき役割について、評価を行う調査委員会を開催。



## 調査委員



**若林宗男 氏 (委員)**  
事業構想大学院大学客員教授



**田中輝美 氏 (委員)**  
ローカル・ジャーナリスト



**指出一正 氏 (委員)**  
ソトコト編集長



**三浦大紀 氏 (オブザーバー)**  
GO▶つくる大学校長

江津市

# 有福温泉地域 関係人口と地元住民の協働事業プロデュース

自走化スタイルのひとつである、プレイヤーと関係人口の相対による協働事業の展開を促進するため、R2年の有福温泉地域オンライントライアルで提案のあった協働プランのうち、「有福ブックライブラリー」の実施を支援した。

①

持続可能なつながり方の  
検討

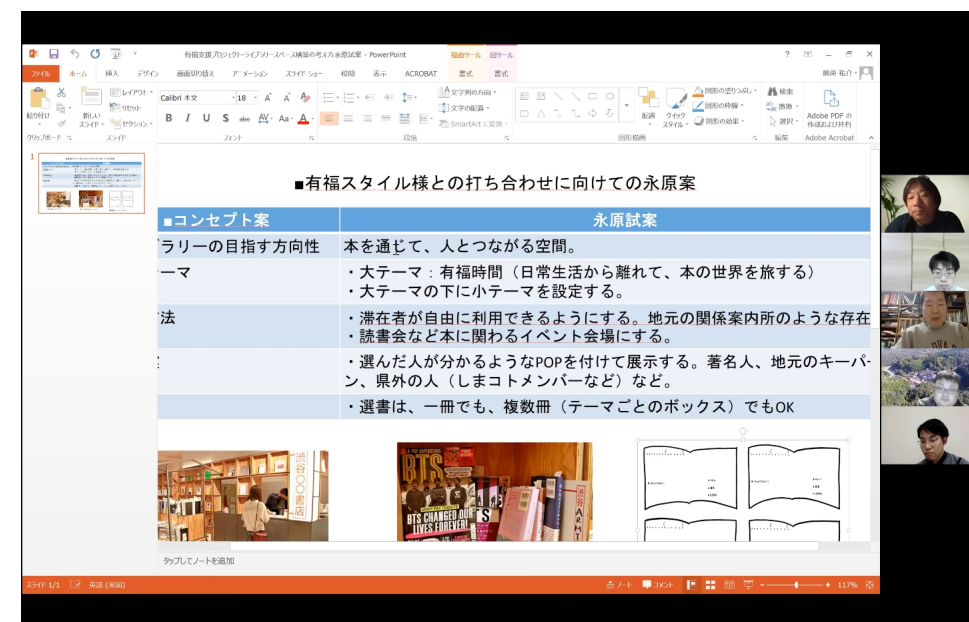
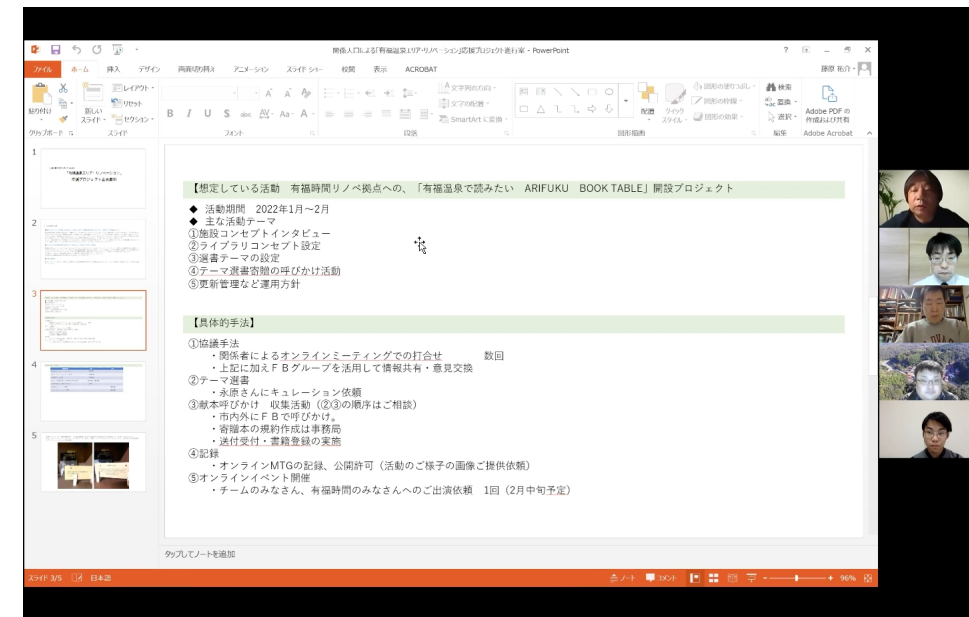
②

有福温泉協働プロジェクト  
実施支援

有福温泉

# ARIFUKUBOOK TABLEプロセス

## ① ライブラリコンセプト立案



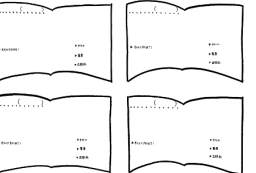
- 施設コンセプトインタビュー（地元プレイヤー、関係人口）
- コンセプト立案（関係人口）

## ② 選書テーマの設定

■有福プロジェクト ライブラリコンセプト

項目	内容
○ライブラリーの目指す方向性	本を通じて、人とつながる空間。
○選書テーマ	・大テーマ：有福時間（日常生活から離れて、本の世界を旅する） ・大テーマの下に小テーマを設定する。
○活用方法	・滞在者が自由に利用できるようにする。地元の関係案内所のような存在に。 ・読書会など本に関わるイベント会場にする。
○演出案	・選んだ人が分かるようなPOPを付けて展示する。著名人、地元のキーパーソン、県外の人（しまこメンバーなど）など。 ・選書は、一冊でも、複数冊（テーマごとのボックス）でもOK





全体のイメージ
ボックスのイメージ
読書カードイメージ

- 選書テーマの設定、活用方法の検討、演出案の検討

## ③ 寄贈の呼びかけ、ポップデザイン



### 「有福時間」ライブラリー・書籍寄贈エントリーシート

根県江津市有福温泉が地域全体で取り組んでいる、エリア・リノベーションに共感し、築140年の旅館をセルフリノベーションにより、2022年に同地域にカフェ（有福ドリップ）の開業を準備している、葉葉さんと小堺さん。

私の有福時間🔥

14歳からの哲学 考えるための教科書 / 池田晶子

私に「考えること」を教えてくれた大切な本です。  
哲学は、難しい言葉を感じることはありません。  
身近な不思議に驚き、ささやかな謎を問い続けることである。  
彼女の言葉への絶対信頼は、現に彼女が死して尚輝きを増す精神となっている。  
真理を追求する全ての人へ、共に考えましょう。


- 寄贈の呼びかけ
- メッセージ用ポップデザイン（関係人口）

## ④ 実施

■有福プロジェクト ライブラリコンセプト

項目	内容
○ライブラリーの目指す方向性	本を通じて、人とつながる空間。
○選書テーマ	・大テーマ：有福時間（日常生活から離れて、本の世界を旅する） ・大テーマの下に小テーマを設定する。
○活用方法	・滞在者が自由に利用できるようにする。地元の関係案内所のような存在に。 ・読書会など本に関わるイベント会場にする。
○演出案	・選んだ人が分かるようなPOPを付けて展示する。著名人、地元のキーパーソン、県外の人（しまこメンバーなど）など。 ・選書は、一冊でも、複数冊（テーマごとのボックス）でもOK





全体のイメージ
ボックスのイメージ
読書カードイメージ



- プロジェクトのオンライン報告会
- プロジェクトの実施

■有福プロジェクト ライブラリーコンセプト

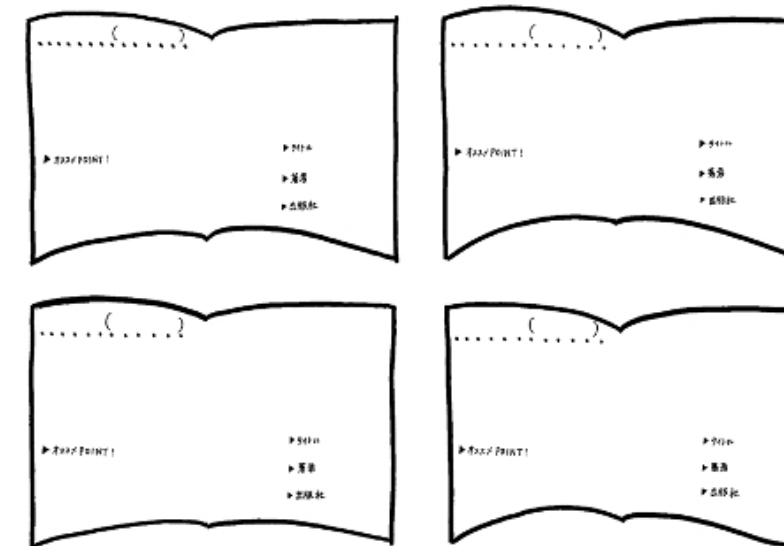
■項目	内容
○ライブラリーの目指す方向性	本を通じて、人とつながる空間。
○選書テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大テーマ：有福時間（日常生活から離れて、本の世界を旅する）</li> <li>・大テーマの下に小テーマを設定する。</li> </ul>
○活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在者が自由に利用できるようにする。地元の関係案内所のような存在に。</li> <li>・読書会など本に関わるイベント会場にする。</li> </ul>
○演出案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ人が分かるようなPOPを付けて展示する。著名人、地元のキーパーソン、県外の人（しまこトメンバーなど）など。</li> </ul>
	・選書は、一冊でも、複数冊（テーマごとのボックス）でもOK



全体のイメージ



ボックスのイメージ



読書カードイメージ

私の有福時間🔥

14歳からの哲学 考えるための教科書 / 池田晶子

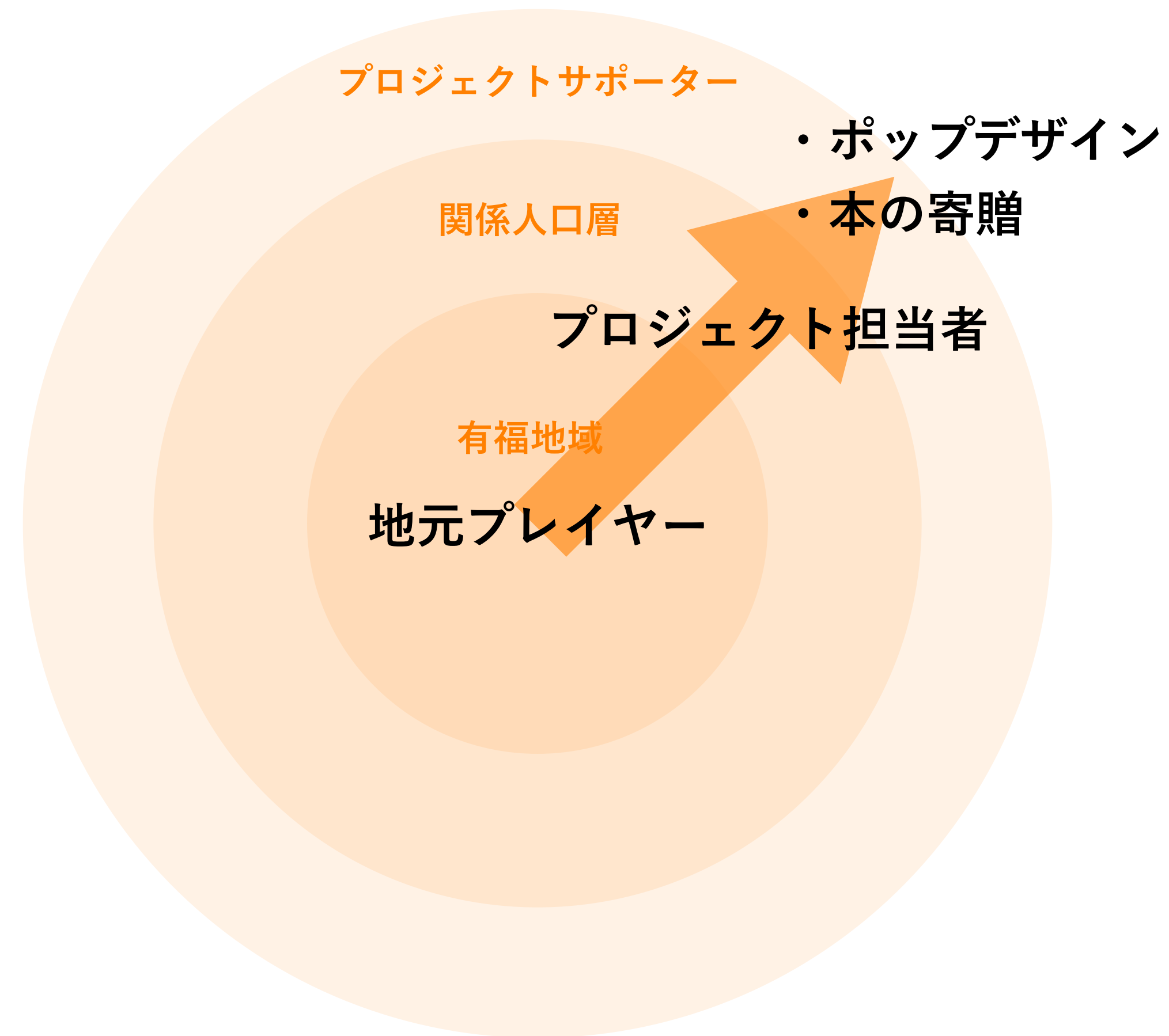
私に「考えること」を教えてくれた大切な本です。  
 哲学は、難しい言葉を感じるのではない、  
 身近な不思議に驚き、ささやかな謎を問い続けることである。  
 彼女の言葉への絶対信頼は、現に彼女が死して尚輝きを増す  
 精神となっている。  
 真理を追求する全ての人へ、共に考えましょう。

私の有福時間🔥

69 sixty nine / 村上龍

1969 生まれは既に 50 オーバー。半世紀以上前の村上龍の自伝的九州グラフィティ。同じ時代、同じ学生運動を背景に描かれた村上春樹の「ノルウェイの森」とは対極的な楽しくおバカな高校生物話。読み比べはもちろん、どちらも映画化されているので見比べるのもおすすめです。この時代の空気感を知っている人には懐かし、知らない人には新鮮な湯上がりのコーヒー牛乳のような1冊。

# 「ARIFUKUBOOK TABLE」で生まれたつながり





Business Achievements

## 5. 事業成果

自立・自走化の検討

他地域への横展開の可能性の検討





## 1. 横展開

- 浜田市における横展開では、市が運用する「浜田応援団」や出身者を対象としたため、出身者などの「つながり直し」も見出された。今後の可能性の発見や提言が期待される。  
また、地域の持つ資源や人の魅力を整理、抽出することができた。
- 魚津市では、「若い世代の活動を知ることができた」「富山との新しいつながりができた」という意見が寄せられ、スタートアップ型として「人」を介したつながりのきっかけづくりとなった。またツアー終了後、参加者と現地プレイヤーとの個別の協働プロジェクトやアクションが立ち上がった。



## 2. 関係案内人育成

- ツナギビト講座として、関係人口育成を実施したことにより、個人と地域とが1対1ではなく、より多様につながるスキルを関係人口が習得することができた。
- 関係案内人としての自分らしい役割を、1人1人が見つけることができた。
- 関係人口と地域とをつなぐプラットフォームとしての役割が期待されることから、地域と関係人口との良好な橋渡しの促進が期待される。



## 3. 自走

- 有福温泉プロジェクトでは、関係人口による昨年度のプランを実践へと進めたことにより、「関わり方の可視化」から「関わりの持続」さらには「活動人口へ」という深化のプロセスを実証することができた。（弊社提案「AARRTモデル」）
- 有福温泉プロジェクトは完全オンラインによる実施であったが、関係人口の有する「知識」「スキル」「意欲」を多いに活かし、関係人口ならではの手法で地域における活動を活発にし、魅力を高めることができた。また関係人口同士による関わりの連鎖を生むことができた。



## 1. ナレッジの共有

- スタートアップ型トライアルにおいて、島根県浜田市では一つの地区に限定したフィールドトライアル、魚津市ではより広い市域で活躍するプレイヤーとの多様な出会いを試みた。横展開において多様な試みを実施したことから、**関係人口と地域とをつなぐ多様な経験を得、その知見を両地域が相互に共有することができた。**
- ブラッシュアップ型モデルの事例をスタートアップ型地域に共有したことで、次の段階に進むためのナレッジや視点を共有することができた



## 2. 関わりプロセスの網羅的な実施

- 「かかわりシロチャンネル」をはじめとする、最初の接点の段階から、各トライアルを通じて
  - ①関係人口への働きかけ
  - ②地域側からの「かかわりしろ」の発信
  - ③相互交流と関わりの可視化
  - ④関わりの継続
  - ⑤関係人口と地域との協働活動へと関係人口と地域とが関わりを深化させるプロセスを試みることができた。



## 3. 関係人口層の次なるニーズ

- ツナギビト講座には、関係人口講座の修了生に参加いただいた。参加者は、**自分なりの地域との繋がり方をさらに深めたい、また深めるためにどうすれば良いか分からないといったニーズを抱えていることがわかった。**
- 活動人口へ変化していく層として、関係人口講座修了生は大きな可能性を秘めている。**ツナギビト講座のような、関係人口としての関わり方を深める機会や、関係案内人へと成長する場は、事業性が高いと考えられる。**

**かかわりシロチャンネル**

**多様なナビゲーターによる  
関わりしろの提示  
地域や個人からの投稿**

**スタートアップ型トライアル（横展開）**

**情報交流や関係案内所機能の  
開設など、関係を深化・  
持続させるフォローアップ**

**ブラッシュアップ型トライアル**

**ARIFUKUBOOK TABLEの  
関係案内化と継続的な活動支援**

**関係案内人（ツナギビト）育成**

**ツナギビトの育成充実に向けた  
プラットフォーム機能の改善**



## 中間支援団体の責任範囲

本事業では、地域と関係人口の協働プロジェクト支援を実施した。双方の繋がりニーズの確認と共有、進行管理、寄贈サポート、クリエイティブ面のサポートなどを事務局が行い、**チーム活動の促進、プロジェクトのクオリティ担保**を担った。

地域と関係人口がいるだけでは、繋がりや動きが生まれづらい。間に入り**両者を円滑に動かし、かつ満足度の高い関係性や活動へと発展させる**ために中間支援団体の役割や責任範囲があると考えられる。



## ツナギビト講座の有料化

ツナギビト講座の実施を通じて、**関係人口層の次のニーズ**が顕在化した。またそのニーズを解決するための手法として、**ツナギビト講座が有効**であることが示唆された。

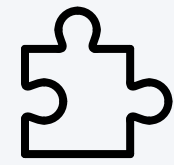
今回は全てオンラインで実施をしたが、**現地ツアー**なども取り入れることで、**マネタイズの可能性が出てくる**。また、地域外の関係人口だけではなく、地域内関係人口も受講対象にすることで、リーチできる層が広がっていく。



## 地域人材、資源の可視化とコンテンツ化

黒沢地区トライアルでは、黒沢BOXという地域住民が手がけた食をパッケージにして参加者へ届けた。地域関係者から「**地域の資源や人の魅力の整理**ができたことで、**黒沢BOXが作れた**」とコメントいただいた。

**地域人材や資源の魅力**を再編集することで、**新たなコンテンツ**が生まれる可能性がある。地域が主体となり、**魅力の編集やコンテンツ作成、発信**を行うことは、**関係人口創出活動の自立・自走**に繋がる。



## AARRTモデルによる 知見・実績の蓄積と展開

地域と関係人口の関係性を捉えるモデルとして、AARRTモデルを提唱した。本事業で得られた知見をもとに、各フェーズで実施すべきアクションやフェーズを担う人材、フェーズを深化させていく要因などを整理・蓄積し、横展開が可能になるように整備していく。



## つながりを継続、 進展する仕掛けづくり

スタートアップ型の次の段階として、構築できた関係をゆるく継続させられる仕掛け、またそこまで考慮した上での事業スタートが必要であることが分かった。継続の方法として、リアル/オンライン関係案内所(SNSグループやサロンなど)、ツナギビト、かかわりシロチャンネルといったメディア、まちづくセンター（公的機関）の参入など多角的な視点や価値軸で発信し、地域が時々動いていることが見える、仕掛けづくりが必要である。



## 地域と関係人口の協働 スタイルの横展開

今回実施した【ARIFUKUBOOK TABLE】のように、関係人口の関わりを深化させたり、協働スタイルを促す手法を横展開し、地域の価値を大きくしていくことが必要である。事務局を含めたチームづくりや、地域と関係人口双方のリテラシー（関わりしろへの理解やニーズ把握）向上など、様々な要因が考えられるため、それらを整理し、横展開へと繋げていきたい。

いきる地域をつくるために



シーズ総合政策研究所